



1. 新月に魅入られて
2. メタファー
3. 2 2
4. #ノナカノコドク
5. 幸福味
6. Contrast
7. サイボーグマニア

1.新月に魅入られて

赤く染まるこの街並み 見慣れた景色で
響き渡るカラスの声 ちょっぴり悲しい
最終ページを読み飛ばして見えないふり
もう少しと続かない
暮れるトワイライト 君の頬で光った涙の色は純んでいた
時は止まらない このままじゃいられない
新月のように 私たまたま変わる零から
長い手足 切れ長の目 かわいいって言えよ
メイクもよし 衣装もよし 絶対かわいい
跳ねた毛が今日はちょっと多い曇り空
気になるわ いつもよりも
離れたくないの このままじゃ壊れちゃう
一番星のように また私瞬くからいますぐ
朝が来る度がかかり まだ夢をみたいよ また自分に生まれた
暮れるトワイライト 君の頬で光った涙の数は幾つだ
時は止まらない このままじゃいられない
新月のように また私生まれ変わる何度でも

2.メタファー

しみこんだ愛は いつの間にか消えていた
おはよう それだけ それだけで嬉しかった
割り切った関係性 僕らは他人だ 鏡では解けない私の存在証明
恋のような 泡のような 右左せわしくなく現れ消えゆく
君のような 嵐のような 動じない心持を憧れていた
止まった時を過ごした 心底嫌気がした
きっかけは思い違い ドミノ式 解けない魔法
擦れて見えた素肌を 思い出で覆いたいよ
言葉にしたところで そのままじゃ伝わんないの
傷ついた心にそっと寄り添う言葉を求め歩く 僕らはどこから間違えたの
大人びた言葉はまだ知らないから 泥臭いまの両手が掴むメタファー
見てね 背中が答えだから
見渡した町はねじのとれたガラタダ
片足浮かせばそのまま寝たきりだった
隣り合う席の少女 一度外で見た 2つある仮面はどちらがホンモノなんだ
止まった時を過ごした 心底嫌気がした
ここからは出口のない 不親切設計のゲーム
一人を大事にしたい だから独りになれない
言葉にしたところで 誰にも理解されないの
お互いの心を断定する言葉を使う僕は 愛しさと怒りをはき違えた
広がっていく間隔 わかりあえない
いつかは好きでいられた 2人の溝を越える
何度でも問いかける だって手を差し出すことがそう 喜びのメタファー
次こそ必ず見失わない

3.22

ねえねえ聞いてるの？ ねえねえ聞いてるの？
くるくると回る針 沸沸と煮えたぎった
Listen ねえ聞いてよ Listen こっち見て
もうあなたなんか知らない！
あたし 怒る 怒るのよ わかってないわ！
あなたなんか遊びなの
聞いてよ お願いよ 忠告言ったでしょ？
くるくると回る針 カチカチと鳴り響く
Listen ねえ聞いてよ Listen 最後だよ
アンタなんか嫌い
あなたほど強くないのよ 涙なんか見せるわけじゃないじゃない
もう！ これで勝ったと思うなよ！
私 寡黙 黙ってるだけなのよ！
喋るうちが花なのよ
怒っている顔見せられない 笑顔でただ次の感情待つ
あなたほど強くないから 沸沸と煮えたぎる臨界温度
もう本当に知らない！
私 怒る 怒るのよ デレてないわ！
あなたのごとで溢れるの だから 聞いて

4.#ノナカノコドク

皆既日食のような暗闇深く怖くて 蕨掻くほどに引き込まれる
ひそやかに揺れた指先とうに冷えきってかじかむ心
温もりを感じたいよ ねえ どうすればいいの
拒絶の殻でできたブラックボックスは そのすべてを青く悲しく染める
雷の光映した心絶対に忘れずに 次の感情を今も待っている
部屋の時計の針は止まっている 鏡映らないのどうして
あの日からだ 昨日考えたことまたぐるぐる
向かうここじゃない別のどこかへ
めぐりめぐるループのような怒りも角が落ちて
歯を食いしばっていいかも
まず一步目から歩き出せばほら
風が背中を押して全てを過去に塗り替える
でも どうすればいいの
拒絶の殻破ったスタートラインは 動く体に心が追いつかない
雷の光映した心絶対に忘れないように 次の感情へ向かう
どうして漠然とした不安に負けたくない もう一度手をのばすよ
三日月の夜に合おう 月の下で繋がっている
例え何処に居ようとも もう一人じゃない
水面から顔出したら力が湧いた
ちょっとづつ前に進めそう きあ次の扉開けよう

5.幸福味

タイムリミットはもう近い
舌がきみしくなったら 新しいものが満たしてくれるの
道化たちが言っていた 幸せの尺度自分次第だって
悲しさを欲望とともに凍り付かないように燃やせ
胸の奥底で燃えるポンプ 後戻りなど許さぬ恐怖
走り続けた先で見た不可逆リアル
回る世界は日増しに速くなる 円周上にてしがみつく
救命信号 SOS も届かない
いっせ消えてしまえたらな そう咳いてはまた自己嫌悪だ
ちっぽけな存在だと思ひ始めたら優しくなれたんだ
初めての体験はいつも幸せの味がしたんだ
満たされれない 何も感じない
ご利用は計画的に
要らないものばっか増えてく 欲望のツボを押されてる
不可視化された僕の罪 償えないよ
生まれつき持っているこの免罪符 後ろめたさ隠してくれる
もう少しだけ足りないの もっともっと燃やせ
知らないふり しているけど 終わりはある
一つ幸せを得るごとに一つ大切を失っていく運命
次の世界でまた会おう

7.サイボーグマニア

紛らわした 繰り返す想い
僕は手愛え品買え 目の玉をくりぬいた
止まらないハート 握り叫んでも 信号は途絶えた
優しい言葉だけをずっと 信じるだけさ それだけが僕の言葉
量産式 生み出す
チタンハート 少し 私に馴染まない
明日はもっと私らしく 変わることできたら
明日も生きたい いつかの温もり 思い出す
人並みの幸福 いつか知りたい それだけが今の願い事
巻き戻したい 覚悟はもう済んだ
僕は手取り足取り 心臓を書き換えた
知らない方が幸せだった 時間が経つごとに怖くなった
傷つくならばこんなものは 最初から欲しくはなかった
なのに 止まらないハート 握り叫んでも 何も変わらないさ
優しい言葉だけをずっと 信じるだけさ それだけでいいんだ

歌：結月ゆかり

作曲・編曲・作詞：beefst

